

官報

號外 昭和十四年一月二十五日

○第七十四回衆議院議事速記録第六號

帝國議會

昭和十四年一月二十四日(火曜日)

午後一時九分開議

議事日程 第五號

昭和十四年一月二十四日

午後一時開議

第一 昭和十四年度一般會計歳出ノ財源ニ充ツル爲公債發行ニ關スル法律案(政府提出) 第一讀會

第二 作業會計法中改正法律案(政府提出) 第一讀會

第三 兌換銀行券整理法中改正法律案(政府提出) 第一讀會

○議長(小山松壽君) 諸般ノ報告ヲ致サセマス

〔書記官朗讀〕

一政府ヨリ提出セラレタル議案左ノ如シ
(第一號)昭和十三年度歳入歳出總豫算追加案

農業再保險特別會計法案

(以上一月二十四日提出)

〔左ノ報告ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノ爲茲ニ掲載ス〕

一昨二十三日平沼内閣總理大臣ヨリ左ノ通

官報號外 昭和十四年一月二十五日

衆議院議事速記録第六號

議長ノ報告

昭和十四年度一般會計歳出ノ財源ニ充ツル爲公債發行ニ關スル法律案

第一讀會

第二 作業會計法中改正法律案(政府提出) 第一讀會

第三 兌換銀行券整理法中改正法律案(政府提出) 第一讀會

第四條ヲ削ル

發令アリタル旨ノ通牒ヲ受領セリ

企畫院次長 武部 六藏

第七十四回帝國議會政府委員被仰付

一昨二十三日衆議院規則第十五條但書ニ依リ議長ニ於テ議席ヲ左ノ通變更セリ

四七 上田 孝吉君

六八 中野 治介君

七七 犬養 健君

九四 木暮武太夫君

九五 松山常次郎君

九六 原 惣兵衛君

一〇五 助川啓四郎君

一〇九 板谷 順助君

一二一 羽田武嗣郎君

一二二 南 鼎三君

一三五 庄司 一郎君

一三九 伊東 岩男君

一四〇 清瀨規矩雄君

一六〇 牧野 賤男君

一六一 名川 侃市君

一八五 太田 正孝君

一九〇 田邊 七六君

一九一 佐藤洋之助君

二二五 田尻 生五君

二四〇 横川 重次君
二五八 久山 知之君

一昨二十三日議長ニ於テ辭任ヲ許可シタル
常任委員左ノ如シ

第六部選出豫算委員 原 惣兵衛君

○議長(小山松壽君) 是ヨリ會議ヲ開キマス、御諮リ致シマス、豫算委員長ヨリ本日

本會議中竝ニ自今本會議中ト雖モ委員會ヲ開キタイトノ申出ガアリマス、之ヲ許スニ

御異議アリマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(小山松壽君) 御異議ナシト認メマス、仍テ之ヲ許可致シマス——日程第一乃

至第三ハ便宜上一括議題ト爲スニ御異議ゴザイマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(小山松壽君) 御異議ナシト認メマス、仍テ日程第一、昭和十四年度一般會計

歳出ノ財源ニ充ツル爲公債發行ニ關スル法律案、日程第二、作業會計法中改正法律案、

日程第三、兌換銀行券整理法中改正法律案、右三案ヲ一括シテ第一讀會ヲ開キマス——

石渡大藏大臣

第一 昭和十四年度一般會計歳出ノ財源ニ充ツル爲公債發行ニ關スル法律案

(政府提出) 第一讀會

第二 作業會計法中改正法律案(政府提出) 第一讀會

第三 兌換銀行券整理法中改正法律案(政府提出) 第一讀會

第四條ヲ削ル

昭和十四年度一般會計歳出ノ財源ニ充ツル爲公債發行ニ關スル法律案

第一條 政府ハ昭和十四年度一般會計歳出ノ財源ニ充ツル爲他ノ法律ニ依リ起

債シ得ル金額ノ外七億九千五百八十萬圓ヲ限リ公債ヲ發行シ又ハ借入金ヲ爲スコトヲ得

第二條 政府ハ昭和十四年度一般會計歳出豫算翌年度繰越額ノ財源ニ充ツル爲

他ノ法律ニ依リ起債シ得ル金額ノ外昭和十五年度ニ於テ公債ヲ發行シ又ハ借

入金ヲ爲スコトヲ得但シ前條ノ規定ニ依ル公債又ハ借入金ト通ジテ前條ノ制

限額ヲ超ユルコトヲ得ズ

第三條 前二條ノ規定ニ依ル公債ノ發行價格差減額ヲ補填スル爲必要アル場合

ニ於テハ前二條ノ制限以外ニ公債ヲ發行シ又ハ借入金ヲ爲スコトヲ得

附則

本法ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

作業會計法中改正法律案

作業會計法中左ノ通改正ス

第二條第三項中「二百萬圓」ヲ「四百萬圓」ニ改ム

附則

本法ハ昭和十四年度ヨリ之ヲ施行ス

兌換銀行券整理法中改正法律案

兌換銀行券整理法中左ノ通改定ス

第四條ヲ削ル

明治二十五年三月三十一日
第三種郵便物認可

附則

本法ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

(國務大臣石渡莊太郎君登壇)

○國務大臣(石渡莊太郎君) 只今議題トナリマシタ昭和十四年度一般會計歳出ノ財源ニ充ツル爲公債發行ニ關スル法律案、作業會計法中改正法律案及ビ兌換銀行券整理法中改正法律案ニ付テ、提案ノ理由ヲ説明致シマス

先ヅ昭和十四年度一般會計歳出ノ財源ニ充ツル爲公債發行ニ關スル法律案ニ付テ説明致シマス、昭和十四年度一般會計歳出ノ財源ト致シマシテ、現行ノ震災善後公債法、道路公債法ニ依ル公債ヲ發行致シマスル外、歳入ノ不足ヲ補填スル爲七億九千五百八十萬圓ノ公債ノ發行ヲ必要トスルノデアリマスガ、是ガ爲ニハ別ニ起債ノ權能ヲ得ルコトガ必要デアリマス、尙ホ昭和十四年度歳出豫算中若干ノ金額ハ、例年ノ如ク翌年度ニ繰越サル結果ニナルデアラウト存ゼラレマスル所、其ノ繰越額ノ財源タル公債ハ、必ズシモ之ヲ昭和十四年度内ニ於テ發行スルノ必要ハアリマセスガ、之ヲ其ノ翌年度ニ於テ發行シ得ルコトスルノヲ適當ト認メマシテ、本法法律案ヲ提出致シマシタ次第デアリマス

次ニ作業會計法中改正法律案ニ付テ説明致シマス、海軍火藥廠ニ於ケル事業量ハ近年既ニ著シク増大致シマシタノミナラズ、同廠ニ屬スル工場ノ新設其ノ他諸設備ノ擴充ニ伴ヒマシテ、同廠ノ從來ノ据置運轉資

本ヲ以テシマシテハ、到底作業ノ圓滑ナル遂行ヲ期シ得ザルコトト相成リマスノデ、其ノ法定額ヲ四百萬圓ニ増額ヲシテ、漸次一般會計ヨリ之ヲ繰入ルルコトトスル必要ガアリマスノデ本法法律案ヲ提出致シマシタ次第デアリマス

最後ニ兌換銀行券整理法中改正法律案ニ付テ説明致シマス、現在ノ兌換銀行券整理法ニ依リマスレバ、同法ニ依ツテ兌換銀行券ヲ整理シマシテ結果生ジマシタ利得ハ、其ノ全額ヲ國債償還資金ニ充ツル爲漸次一般會計カラ國債整理基金特別會計ニ繰入レルコトニナツテ居ルノデゴザイマス、然ルニ現下ノ我國財政ノ狀況ニ顧ミマスレバ、此ノ際右ノ繰入ヲ廢止シ該利得金額ハ之ヲ一般歳出ノ財源トシテ用ヒマスコトヲ適當ト認メマスノデ、茲ニ本法法律案ヲ提出シタ次第デゴザイマス

以上三件ニ付キマシテハ、何卒御審議ノ上御協賛アラントラ希望致シマス(拍手)
○議長(小山松壽君) 各案ノ審査ヲ付託スベキ委員ノ選舉ニ付テ御諮リ致シマス

○服部崎市君 日程第一、第二、第三ノ三案ヲ一括シテ、議長指名二十七名ノ委員ニ付託サレンコトヲ望ミマス

○議長(小山松壽君) 服部君ノ動議ニ御異議アリマセスカ

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(小山松壽君) 御異議ナシト認メマス、仍テ動議ノ如ク決シマシタ、豫算委員

長ノ報告ヲ待ツ爲暫時休憩致シマス
午後一時十五分休憩

午後二時二十一分開議

○議長(小山松壽君) 休憩前ニ引續キ會議ヲ開キマス

○服部崎市君 議事日程追加ノ緊急動議ヲ提出致シマス、即チ此ノ際第一號、昭和十三年度歳入歳出總豫算追加案ヲ議題ト爲シ、委員長ノ報告ヲ求メ、其ノ審議ヲ進メラントラ望ミマス

○議長(小山松壽君) 服部君ノ動議ニ御異議アリマセスカ

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(小山松壽君) 御異議ナシト認メマス、仍テ日程ハ追加セラレマシタ、第一號、昭和十三年度歳入歳出總豫算追加案ヲ議題ト致シマス、豫算委員長ノ報告ヲ求メマス——豫算委員長櫻井兵五郎君

(第一號) 昭和十三年度歳入歳出總豫算追加案
報告書

一(第一號) 昭和十三年度歳入歳出總豫算追加案

右ハ本院ニ於テ可決スヘキモノト議決致候此段及報告候也

昭和十四年一月二十四日

豫算委員長 櫻井兵五郎

衆議院議長 小山松壽殿

(櫻井兵五郎君登壇)

○櫻井兵五郎君 只今議題トナリマシタ昭和十三年度歳入歳出總豫算追加案第一號ニ付キマシテ、豫算委員會ニ於ケル經過竝ニ結果ノ御報告ヲ申上ゲタイト存ジマス

本追加案ハ軍事扶助ニ要スル所ノ經費増加ノ爲ノ追加デアリマス、即チ支那事變ノ爲軍事扶助法ニ依リ扶助ヲ要スル傷病兵、其ノ家族若クハ遺族、又ハ下士官、兵ノ家族若クハ遺族ノ扶養ニ要スル生活扶助、醫療、助産及ビ生業扶助等ニ要スル費用デアリマシテ、其ノ金額ハ千六百五十萬圓デアリマス、而シテ是ガ財源ハ昭和十三年度ニ於ケル豫算實行上ノ歳入超過額ヲ以テ之ニ充當スルトノ政府ノ説明デアリマシタ

昭和十三年度ニ於キマスル軍事扶助法施行ノ爲ニ要スル經費ノ當初ノ豫算額ハ五千四百九十九萬四千二百五十圓デアリマスガ、支那事變ノ推移ニ伴ヒマシテ漸次扶助ヲ要スル者ノ數ガ増加ヲ致シ、昨年四月ニ於ケル扶助戸數ハ約三十三萬四千戸、扶助人員ハ百十二萬五千人デアリマシタノガ、昨年十一月ニハ扶助戸數四十二萬四千戸、扶助人員ハ百五十五萬八千人ニ達スルノ狀況ト相成ツタノデアリマシテ、爲ニ豫算ノ不足ヲ告グルニ至リ、既ニ前後二回ニ互リマシテ、千六百八十三萬八千六百三十圓ヲ、第一豫備金ヨリ支出シタノデアリマスガ、是ハ一月末マデノ所要額ヲ充スダケデアリマスノデ、尙ホ二月以降年度内ノ所要見込額ト致シマシテ、茲ニ提出サレテ居リマスル

所ノ千六百五十万圓ノ追加ヲ要求スルコト
トナツタ次第アルノデアリマス、而シテ
現在政府ニ於テハ、此ノ軍事扶助法ノ施行
ノ外、法ノ及バザル方面ノ軍事援護事業ト
シテ、一般軍事援護事業ノ助成ヲ初メ、召
集解除者ノ生業援護、遺族子弟ノ教養等各
方面ニ互リ援護ノ措置ヲ講ジ、之ニ依リマ
シテ出勤軍人ノ家族遺族等ノ扶助ニ萬遺憾
ナキヲ期シツアルトノ厚生大臣ノ御説明
デアツタノデアリマス

委員會ニ於キマシテハ、政府當局ノ以上
ノ詳細ナル説明ヲ聽キマシタル後、事變ノ
經過ニ照シ軍事扶助法運用ノ關係上是ハ緊
急且ツ已ムヲ得ザルモノト認メマシテ、別
ニ質疑討論ヲ用ヒズ直チニ採決ニ入り、全
會一致ヲ以テ可決ヲ致シマシタ(拍手)此段
御報告ヲ申上ゲマス(拍手)

○議長(小山松壽君) 採決致シマス、本案
ハ委員長報告ノ通り決スルニ賛成ノ諸君ノ
起立ヲ求メマス

(議員起立)

○議長(小山松壽君) 起立議員

(拍手起立)

○議長(小山松壽君) 仍テ本案ハ委員長報
告ノ通り全會一致可決確定致シマシタ(拍
手)是ニテ議事日程ハ議了致シマシタ、次
會ノ議事日程ハ公報ヲ以テ御通知致シマ
ス、本日ハ是ニテ散會致シマス
午後二時二十八分散會

衆議院議事速記録第五號中正誤

頁	段	行	誤	正
七六	四	三〇	是ハハ	是ハ
八一	一	一一	此ノ方	北ノ方
八一	一	二〇	サルコト	サルコト
八五	三	三七	出ルナト	出ルナイ
八六	二	一一	融合	友好
八六	四	二六	遺憾	遺憾
八七	四	二八	ソレコレ	ソレコレ
八八	二	一七	何ヲ	何カ
八九	一	三一	支那古典	支那古典
八九	一	三二	支那古典	支那古典
八九	四	三四	次回	次會

